

dicom2csv

DICOMタグから情報を取得し、CSVファイルを作成するスクリプトです。

- DICOMファイルの情報からさまざまな被験者属性、スキャナ情報、撮像パラメータを一覧にすることができます。
- DTIのDICOMについては、MRtrix3の `mrinfo` コマンドを使用して **b値** や **軸数** を取得できます。
- サブディレクトリは再帰的に検索されます。
- シリーズのディレクトリ名は "SE" で始まる必要があります。
- **DICOMファイルのみ** が存在する場合は `dcm2csv_raw.py` が適しています。

使用例：適宜パス名を変更してください。

```
git clone https://github.com/Kikubernetes/dicom2csv.git
cd path/to/dicom2csv
./dcm2csv_raw.py your/path/to/dicom/directory
```

カレントディレクトリに "results.csv" が出力されます。

- DTIの情報のみ欲しい場合には `dti2csv_raw.py` を、T1wの情報のみ欲しい場合には `t1w2csv_raw.py` を同様に実行します。
- **DICOMとNIFTIなど、ファイルが混在** している場合は、DICOMファイルを `org_data` という名前のディレクトリにまとめ、全シリーズの情報を使うには `dcm2csv.py` を、DTIのみほしい場合は `dti2csv.py` を使用してください。

必要なソフトウェア

- `dcmdump`
- MRtrix3 (DTI用)